

食品に関するリスクコミュニケーション実施要領
「食物アレルギーについて考えよう」

1 目的

日本では、乳幼児の5～10%、学童期の1～3%が食物アレルギーと考えられている。また、成人になってから食物アレルギーを発症することもあり、食物アレルギーは近年増加傾向にある。アレルギー症状を呈した場合、重篤なケースでは生命の危機にさらされる可能性があるため、事業者において食物アレルギーの適切な表示やアレルゲン管理などの取組みは重要である。

そこで、食物アレルギーの現状や基本的な知識等について学び、事業者及び消費者が日頃抱いている疑問や不安等について意見交換を行い、食物アレルギーに関する相互理解とその対応を考えることにより事業者の取組みを促進することを目的とし、本リスクコミュニケーション事業を実施する。

2 日時

令和5年2月14日(火) 14:00～16:30

3 場所

プリムローズ大阪 鳳凰の間(大阪市中央区大手前3丁目1番43号)

4 定員

120名

5 対象者

事業者(大阪府内の食品関係事業者)、消費者(大阪府内に在住又は在勤の方)

6 主催

大阪府、公益社団法人大阪食品衛生協会

7 共催(予定)

大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市

8 内容

(1) 講演及び情報提供

- ・消費者 大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」代表 田野 成美氏
- ・事業者 株式会社ジャパンフーズクリエイト 取締役営業本部長 久光 知彦氏
- ・事業者 株式会社つくば食品評価センター 検査試薬事業部 部長 加藤 重城氏
- ・行政 大阪府健康医療部生活衛生室食の安全推進課食品表示グループ ~~総括主査 正垣 恭子~~
(当日変更)課長補佐 安部 晶子

(2) パネルディスカッション及び参加者との意見交換

・コーディネーター

大阪大学 CO デザインセンター 教授 八木 絵香 氏

・パネリスト

[消費者] 大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」代表 田野 成美 氏

[事業者] 株式会社ジャパンフーズクリエイト 取締役営業本部長 久光 知彦 氏

[事業者] 株式会社つくば食品評価センター 検査試薬事業部 部長 加藤 重城 氏

[行政] 大阪府健康医療部生活衛生室食の安全推進課 課長 湯城 正恵

9 受付方法

(1) 電子申請（メールフォーム）

先着順。定員に達し次第、受付は終了。受付終了後、参加証を送付する。

(2) 募集期間：令和4年12月27日（火）～令和5年1月31日（火）

(3) 参加証送付：令和5年2月7日（火）

10 参加費

無料